

所属機関長殿

2026年度（令和8年度） 第53回「大山健康財団学術研究助成金」のご案内

拝啓 秋冷の候 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、本財団の活動に格別なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本財団では昭和49年創立以来、感染症研究および関連する予防医学研究を援助推進して、人類の健康と社会の福祉に寄与することを目的として、学術研究助成事業を行っております。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、別紙「大山健康財団学術研究助成金応募要領」をご参照のうえ、貴機関の関係者にご伝達いただき、下記締切日までに申請者ご自身から「大山健康財団学術研究助成金申請書」をご提出くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

記

1. 申請締切日 2026年（令和8年）11月30日（当日消印有効）
2. 申請書 別紙「大山健康財団学術研究助成金申請書」にご記入のうえ、原本と複写2部をご送付ください。
本財団のホームページ（<http://www.ohfin.com>）および公益法人協会共同サイト（<http://www.disclo-koeki.org/10a/01044/index.html>）に応募要領を掲載しておりますので、申請書をダウンロードしてご利用いただけます。
なお、本財団下記E-mail宛ご請求いただければWord形式にて添付してお送りいたします。
※メールアドレスが新しくなりましたので、ご注意ください。
3. 送付先 公益財団法人大山健康財団 学術研究助成金選考委員会 宛

以上

2026年（令和8年）10月吉日

公益財団法人 大山健康財団
理事長 神谷 茂

〒132-0035 東京都江戸川区平井 5-29-4-202
TEL・FAX 03-3614-7762
E-mail:info@ohfin.jp

第 52 回学術研究助成金受贈者の研究課題一覧（令和 7 年度）参考

（敬称略）

氏 名	所 属・職 名	研 究 課 題
あいない あきら 相内 章	国立感染症研究所 感染病理部 室長	aP+OMV s を抗原とした経鼻百日咳ワクチンの可能性の検証
いそがい まさひこ 磯谷 正彦	名古屋市立大学大学院 医学研究科腎・泌尿器科学分野 研究員	腸内細菌を介した尿路結石の新規再発予防法の開発
おおしろ たいち 大城 太一	北里大学 薬学部 教授	蛍光抗酸菌を用いた持続感染モデル迅速評価系の構築と新規非結核性抗酸菌症治療薬の開拓
かみすき しんじ 紙透 伸治	麻布大学 獣医学部 総合科学部門 教授	動物マイクロバイオーム由来希少放線菌からの新規抗寄生虫薬シーズの創出
さくらい たつや 櫻井 達也	東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 講師	アフリカトリパノソーマ原虫の細胞分化を標的とした新規疾病制御法開発の基盤研究
つのい やすゆき 角井 泰之	防衛医科大学校 防衛医学 研究センター生体情報・治療システム研究部門 講師	光線力学療法による超広域スペクトルの皮膚感染症治療法の実用化研究
ふるいち むねひろ 古市 宗弘	慶應義塾大学医学部 小児科学教室 専任講師	慢性肺疾患の予防を目指した周産期ウレアプラズマ感染の病態解明
みやざき しんや 宮崎 真也	長崎大学熱帯医学研究所 原虫学分野 助教	NanoLuc 発現レポーターマラリア原虫を用いた接着阻害薬の開発研究
やぎ かずま 八木 一馬	慶應義塾大学医学部 感染症学教室 専任講師	ケニア共和国における非結核性抗酸菌症の疫学的特徴の解明

※学術研究助成金総額：900万円

※受贈者 1 名より、やむを得ない事情により採択について辞退届が提出されましたので、令和 7 年度の受贈者は 9 名となりました。